

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

**評価結果報告書****地域密着型サービスの外部評価項目構成**

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	4671200253
法人名	(有)協愛介護サービス
事業所名	グループホーム協愛
訪問調査日	平成20年7月22日
評価確定日	平成20年9月10日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

**項目番号について**

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

**記入方法**

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

**用語の説明**

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 8月6日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4671200253		
法人名	(有)協愛介護サービス		
事業所名	グループホーム協愛		
所在地	霧島市国分新町1丁目6-52-17 (電話)0995-48-8600		
評価機関名	特定非常利活動法人NPOさつま		
所在地	鹿児島市下荒田2丁目48番13号		
訪問調査日	平成20年7月22日	評価確定日	平成20年9月10日

【情報提供票より】(20年 7月 22日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成 13年 7月 31日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 9人, 非常勤 7人, 常勤換算 11.9人	

## (2)建物概要

建物構造	木造造り		
	1階建ての	階 ~	1階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		800円	

## (4)利用者の概要(6月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	名	女性	18 名
要介護1	2 名	要介護2			6 名
要介護3	9 名	要介護4			1 名
要介護5	名	要支援2			名
年齢	平均 88.7 歳	最低	72 歳	最高	97 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	協愛病院	清水整形外科	国分外科胃腸科	森原歯科医院
---------	------	--------	---------	--------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市郊外の住宅地に開設されているグループホームは広い敷地内の一角に位置し、母体病院や居宅介護、支援事業所が隣接している。健康管理面での支援体制ができており、利用者、家族などに安心感がある。職員は明るい笑顔で親身になったケアを心がけており、シルバーカー利用の利用者に対して誘導や歩行訓練を行い、自力歩行に繋げる取り組みをしている。また筆談によるコミュニケーション作りをするなど、職員の細やかな気配りと努力は利用者、家族などの良好な関係づくりに寄与している。ホームは住宅地の中にあるため日常的に近隣の生活音や暮らしぶりに触れる機会が多く、地域に根ざしたグループホーム運営の充実に期待されるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	家族や地域の人達との絆を重視した理念を補足して作成している。食事を楽しむ支援については、A棟・B棟の利用者の身体状況を十分把握して相応しい支援ができるように職員が工夫や努力をして改善している。災害対策は消防署の指導のもと夜間想定避難訓練を計画している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義を理解し、全員で自己評価に取り組み、前回の改善課題も含めて話し合い改善に取り組み、サービスの質の向上に活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議は定期的開催され、事業所の取り組み状況や外部評価など報告している。家族より楽器やカラオケ機材を利用者に提供して欲しいという要望や、参加者より近くの保育園児との交流を望むなどの意見が出されている。出された意見や要望に対して運営者・職員は話し合い、改善とサービスの向上に活かすように努めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	運営推進会議や来訪時に意見や要望が出されている。夜勤者を2名にして欲しいなどの要望に対して運営者と話し合いを行っている。出された意見や要望は運営に反映するように努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入しており、地域の老人会行事や敬老会に参加している。またホーム便りを老人クラブ、町内会に回覧している。定期的なボランティア来訪や保育園児との交流を深めながら地域の人々との交流に努めている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型のサービスの意義とその人らしく暮らせる支援を職員全員で確認し、家族や地域の人たちとの絆を重視した理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をパンフレットやホール、スタッフルームに掲示している。管理者はミーティングや会議の際に理念を確認して共有に努め日々のケアに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、地区の老人会行事や敬老会に参加している。またホーム便りを老人クラブ、町内会に回覧している。定期的なボランティア来訪や保育園児との交流に努力しながら地域の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、全員で自己評価に取り組み、前回の改善課題も含めて話し合い改善に取り組み、サービスの質の向上に活かしている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は定期的に行われ、事業所の取り組み状況や外部評価など報告している。家族より楽器やカラオケ機材を利用者に提供して欲しいという要望や、参加者より近くの保育園児との交流を望むなどの意見が出されている。出された意見や要望に対して、運営者、職員は話し合い改善と質の向上に活かすように努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者に生活保護利用者の支援方法や運営サービスについて相談しながら協力関係を構築している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便りを定期的に配布している。また家族などの来訪時や通信に心身の状況やホームの運営状況を報告している。金銭管理は出納帳をコピーして報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や来訪時に意見や要望が出されている。夜勤者を2名にして欲しいなどの要望に対して運営者と話し合っている。出された意見や要望は運営に反映するように努めている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	2ユニットの職員が全利用者となじみの関係が継続できるような勤務体制である。やむをえない異動の場合には職員にホームの理念やケアの考え方をしっかり指導し不安がないように取り組んでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修(市、県、グループホーム協議会)に交替で参加している。復命研修も行われており、また法人内で行われている研修も充実しており、資格取得希望者には支援し、取得した職員もいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的に行われている地区グループホーム協議会の勉強会に参加している。電話で運営について相談したり意見交換をするなど交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	病院や自宅に行き本人と面談したり、見学をしてもらい職員となじみながら信頼関係を築き、不安なく入居できるように取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は季節毎の行事や仕来たり、苦労話など利用者に教わったり触れ合う事を大切にしながら喜怒哀楽をともに利用者から学び、支え合う関係を築いている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に一人ひとりの生活歴や希望、意見の把握をしている。日々の関わりの中で心身の状況や言動・表情・筆談などで察するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の心身の状況や本人に関わる関係者の意見や要望をもとにカンファレンスを行い、本人本位の介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的(12ヶ月)な見直しをしている。利用者の状態変化の際は都度カンファレンスや評価をして都度の見直しに活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族などの状況や要望に応じて病院受診や自宅訪問、特別な外出など必要な支援を柔軟に行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医の受診を継続できるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対して家族、医師、看護師を交えて話し合い職員も共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りやプライバシーを損ねないように声かけや対応に留意している。職員採用時の誓約書も取っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事・起床・就寝・レクリエーションなどその人の生活リズムを大切にしながら、本人の希望や状況に応じて柔軟に支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえやテーブル拭きなどできる事を職員と一緒にいながら食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	A棟・B棟隔日おきの入浴日が決められているが、毎日の入浴もできるように準備できている。一人ひとりの希望に応じた入浴の支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	はり絵・花植え・洗濯物干し・読書・カルタとり、ボール遊びなど一人ひとりの得意な事・好きな事に力を発揮してもらいながら生活できるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な散歩や買い物その他、ドライブや遠足、花見、自宅訪問など、できるだけ一人ひとりの希望する外出の支援に心がけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかける事の弊害を理解している。センサーと職員の見守りで一人ひとりの行動を把握して鍵をかけずに自由な暮らしができるように支援している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導をもらいながら防火・避難訓練を定期的に行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量を記録して一人ひとりの状態に応じた摂取量の確保ができるように支援している。身体状況に合わせてキザミ食やおかゆなど取り入れている。栄養バランスは栄養士の献立を使用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居住空間は天井が高く清潔で温度や換気も良く、安全な環境作りに配慮が行き届いている。慣れ親しんだ季節行事の装飾や家具類に囲まれて利用者はゆったりと過ごしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇・冷蔵庫・寝具・タンス・本棚・籐椅子・ぬいぐるみ・鉢植えなど使い慣れた物品が持ち込まれ安心して生活を楽しんでいる。		